

(7203) トヨタ自動車



8/3(月)の分析で、柴田法則での上値の関門に接近したことで下落待ちとしましたが、NY ダウが堅調で日経平均もわずかずつながら高値を更新する動きとなり為替も円安方向となっていたことで上値の関門とした4250円を試す動きとなって8/10(月)には4190円まで上昇しました。ここからは高値圏のもみあいとなって関門は突破できず、このもみあいの中で日足での小さな三尊天井 8/4の4170円 8/10の4190円 8/14の4170円を形成して本日は 110円の4010円となって売転換出現となりました。リスクをとってカラ売りできる人は、8/10の4190円を終値でぬければ損切り前提の対応となります。(目先3700円台買い戻し)ここでは、むしろ為替と日経平均の動きを予測するものとしてみているのがよいでしょう。ここで売転換が出現するのは日経平均がさらに下げて値幅調整(25日線や75日線まで)となることを暗示しているのか為替の円高がさらに進む暗示なのかということです。逆に為替が円安となって反発し8/10の4190円を終値でこえてくると三尊天井の崩れ型という暴騰の形となりますので、その場合は日経平均は11000円を目指す動きとなるでしょう。